

令和4年度 せいかつアンケート

全学年

全学年

そう思う…A, だいたいそう思う…B
あまりそう思わない…C, そう思わない…D

項目	集計 (人)				集計 (%)			
	A	B	C	D	A	B	C	D
1 「早寝, 早起き, 朝ご飯」ができています。	49	51	13	5	42	43	11	4
2 自分からすすんであいさつをしている。	61	49	7	1	52	42	6	1
3 お家の人と話し合い, 時間を決めて, テレビをみたり, ゲームをしたりできている。	42	44	25	7	36	37	21	6
4 お家で, 学校であったことをはなしている。	57	39	17	5	48	33	14	4
5 宿題は, 必ずしている。	99	15	3	1	84	13	3	1
6 学校は楽しい。	71	32	11	4	60	27	9	3
7 友達がいやがることを, したり言ったりしないようにしている。	53	54	10	1	45	46	8	1
8 ていねいな言葉づかいができています。	33	66	18	1	28	56	15	1
9 授業は, よくわかり楽しい。	45	53	16	4	38	45	14	3
10 授業中, すすんで手をあげている。	37	39	28	14	31	33	24	12
11 タブレットパソコンを使う学習に, 進んで取り組んでいる。	64	45	8	1	54	38	7	1
12 授業中, 先生や友だちの話を聞いている。	53	58	5	2	45	49	4	2
13 休み時間, 運動場にて遊んでいる。	82	16	10	10	69	14	8	8
14 先生にそうだんや, いろいろな話をしている。	37	40	29	12	31	34	25	10
15 先生は, 自分ががんばったときにほめてくれる。	53	46	16	3	45	39	14	3
16 協力して, まじめにそうじをしている。	66	46	6	0	56	39	5	0

※端数処理の都合で合計が100%となっていないところがあります。

- 「早寝・早起き・朝ご飯」は, 肯定的85%。昨年度比-2ポイント。あまりできていないと回答した一割強の児童には個別の支援が必要である。
- 「あいさつ」は, 肯定的93%。昨年度比+1ポイント。引き続き, 「進んで」挨拶をするように意識付けるとともに, 時と場, 目的に応じた挨拶ができるようにレベルアップを図りたい。
- ゲームやテレビの時間を守るについては, 肯定的73%。昨年度比-1ポイント。否定的な回答は中高学年で増えてくる。「1」の結果と合わせ, 基本的な生活習慣が整わず, 学習や生活に影響が出ている可能性がある児童が1/4程度いる。日々の健康チェックや声かけにより安定して生活ができるよう支援する必要がある。
- 家で学校の様子を話している, 肯定的81%。昨年度比-4ポイント。学年が上がるにつれて否定的な回答の割合が増加傾向にある。悩みや不安などを家庭や学校で十分伝えることができていない可能性があるため, 行動観察やアンケート等の活用, 家庭との連携により, 問題の早期発見・早期対応に努める必要がある。
- 宿題はしている, 肯定的97%。昨年度比-1ポイント。否定的な回答をした児童の個別指導を引き続き行う。
- 学校は楽しい, 肯定的87%。昨年度比-7ポイント。否定的な回答をした児童の割合がかなり増えている。学年によっても回答に差が出ている。個別の状況を分析し, 誰もが安心して楽しく活動できるよう学習や行事等の改善に努める。
- 友達がいやがることをしない, 肯定的91%。昨年度比-3ポイント。否定的回答の児童を注意深く見守るとともに, 自覚していない児童への指導も必要である。
- ていねいな言葉づかい, 肯定的84%。昨年比+1ポイント。学習中, 休み時間を問わず言語環境を整え, 誰もが気持ちよく生活できるように全校で共通理解をして指導を続ける。
- 授業が楽しい, 肯定的83%。昨年度比-10ポイント。昨年度から大きく後退している。授業の内容や方法, 学習の振り返りについて, 継続して研究・実践を行う。
- 進んで挙手, 肯定的64%。昨年度比-13ポイント。昨年度から大きく後退している。学年が上がるにつれて, 否定的な回答の割合が増加する傾向にある。「浦庄スタイル」を合い言葉に, 全校で共通理解をして取組を継続する。
- タブレットの活用については, 肯定的な回答が92%。昨年度比-4ポイントであるが, 児童の意欲は高いことがうかがわれる。タブレットPCの効果的な活用方法を研究し, 児童の学力向上に生かす。
- 話をきちんと聞く, 肯定的94%。昨年度比+5ポイント。「聴く, 話す, 学び合う」, 「浦庄スタイル」を合い言葉に取り組んできた成果ではある。しかし, 「9」「10」の結果と合わせると, 発表したり話し合いを深めたりして学ぶ楽しさを感じられるようにするには課題が残っている。「話す」「学び合う」につながる聴き方を見直し, 共通理解して取組を進める。
- 進んで外で運動している, 肯定的83%。昨年度比-5ポイント。アフターコロナ・ウイズコロナの活動として, 感染対策をした上でできる運動の工夫を行い。児童の運動機会の確保に努める。
- 先生に相談している, 肯定的65%。昨年度比-11ポイント。学年が上がるにつれて相談しづらいと回答する割合が増加する傾向にある。。悩みや不安などを相談しづらい児童が1/3程度いることから, 行動観察やアンケート等を活用し, 児童理解や問題の早期発見・早期対応に努める。
- 先生が褒めてくれる, 肯定的84%。昨年度比-10ポイント。昨年度から大きく後退している。児童が自身の成長やよさを実感できるようポジティブ支援を継続する。
- まじめに掃除をしている, 肯定的95%。昨年度比-2ポイント。肯定的な回答が多い。引き続き, 無言清掃が自分磨きとなっているか振り返らせ, 児童の意識をさらに高めていく。